

授業科目名 (英語表記)	通商政策 (Trade Policy)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	藤木 剛康		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	1日目 10月6日(木) 18:00~21:00	3日目 11月10日(木) 18:00~21:00	
	2日目 10月20日(木) 18:00~21:00	4日目 11月24日(木) 18:00~21:00	

**【授業の概要・ねらい】**

今日の国際政治の中心舞台とされている「インド太平洋」とはどのような地域であるのか、その成り立ちと現在の情勢、今後の展望について、国際的にも定評のあるテキストを検討します。そのうえで、日本外交の表看板である「自由で開放的なインド太平洋構想」やCPTPPへの中国・台湾加盟申請をどのように考えるべきかなど、日本の外交や通商政策にかかわる重要な論点について、自らの考えを議論できるようになることをめざします。

**【授業計画】**

第1回	オリエンテーション	(講義の解説)
第2回	日本の「自由で開放的なインド太平洋構想」とは	(FOIPの概説と議論)
第3回	インド太平洋地域の概要	(テキスト該当箇所の輪読)
第4回	インド太平洋地域の経緯	(テキスト該当箇所の輪読)
第5回	インド太平洋地域の現状	(テキスト該当箇所の輪読)
第6回	インド太平洋地域の現状	(テキスト該当箇所の輪読)
第7回	インド太平洋地域の展望	(テキスト該当箇所の輪読)
第8回	まとめ	(最終レポートの作成)

講義の解説

**【到達目標】**

インド太平洋地域をめぐる日本外交のあり方について、その成り立ちや現状を踏まえて自らの意見を表明できるようになること。

**【成績評価の方法・基準】**

各回の報告(60%)と最終レポート(40%)で評価します。各回の報告はMoodleにもアップしてください。

**【教科書】**

- 河音琢郎、河崎信樹、藤木剛康編「現代アメリカ政治経済入門」ミネルヴァ書房
- ローリー・メドカーフ「インド太平洋戦略の地政学」芙蓉書房出版

**【参考書・参考文献】**

- 竹中治堅編「『強国』中国と対峙する世界」千倉書房
- 「フォーリン・アフェアーズ・レポート」所収の関連する論文

**【履修上の注意・メッセージ】**

講義の読書課題だけでなく、日常的に新聞やニュースを視聴し、米中関係を中心とした国際情勢に関心を持ってもらいたい。

**【履修する上で必要な事項】**

特になし。

**【授業時間外学修についての指示】**

授業計画に沿って、各回の予習と復習を行ってください。